

8/28 毎日

# 時代のセンス追求

## 一流を目指す

4年目を迎えたHBM S

①

「皆さん、一流の寿司屋に必要なものは何だと思いますか。私はネタが一流、板前が一流、客が一流でなければ一流の寿司屋とは言えないと思う。ではHBM Sはどうか。いい教官、いい受講生、いい講義内容、そして一流のマネジメント、この四つがそろってこそ一流だ。私はその一流を目指す」

HBM S (Hiroshi ma Business and Management School) は中国地方唯一のMBA (経営学修士) が取得できる経営専門職大学院として、3年前、県立広島大に開校。今年4月

前にしても付け加えた。「好奇心を持ち、深い思考を身につけてほしい。」  
時代のセンスを捉えてほしい」  
HBM Sの学生は全て

## 中国地方唯一 MBA取得の大学院



約60人が集ったHBM Sのカミングデー懇親会。右端が「広島ドラゴンフライズ」アンバサダーで4期生の岡崎修司さん

社会人で、職種はさまざま。期生で、「横山先生の言葉。今春の統一地方選挙に触発され入学を決めて5期連続当選を果たした」と話す。  
た緒方直之真議(45)は1 籍を置いた県議会文教

8月24日、キャンパス近くの公園では、卒業生を招いた懇親会が開かれた。1期生が卒業した昨

委員会で2015年秋、翌年春に開校が決まっていたHBM Sの資料を何気なくめくっていた時だ。「I don't know what I don't know (分からないことが分からない)」という文字が目にとまった。  
有権者と話す度、もどかしさを感じていた。例えば企業経営者の相談を受けても、相手と同じ土俵に立てない。15年春に4選を果たし、「時間的余裕があるならチャレンジできる」と思った。  
16年4月に入学。「卒業するまでの2年間は、授業について行くのがやっとだったが、PL(損益計算書)やBS(負債対照表)などの概念を深く学べた。統計学や福祉インベションなど、政策立案に役だっているものは多い」と語る。

球団を運営していくにはマネジメント能力が必要だと痛感し、HBM Sで学ぶことを決めた。広島のあるゆる業種の方が集っていて刺激的。このつながりは、きっと財産になるし、将来に生かせると思う」

「一流」を目指す学生たちの姿を追った。

【元田 禎】  
11つづく